

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営に反映した主な事例（令和２年度）

経営協議会の学外委員からの意見	本学の取組状況
<p>◆ 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う千葉大学学生に向けた緊急支援策について</p> <p>〔意見〕</p> <p>学生支援に関して非常に迅速に対応したことについて、すばらしいと思っている。あとは、きめ細かな本当に必要な学生を掘り下げた支援をこれから5月、6月、7月あたりにやっていただければ良いのではないかと思う。</p> <p style="text-align: right;">（令和2年5月21日 経営協議）</p>	<p>保護者の経済状況悪化や緊急事態宣言によるアルバイト収入の減少等で経済的に困窮した学生を早期に支援するため、千葉大学基金を財源とした「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援事業」として、令和2年度は主に以下の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生1人あたり10万円の給付（504名の学生を支援） ・授業料免除（家計急変者への授業料全額及び半額免除） ・モバイル型Wi-Fiルーター600台の無償貸与 ・学生の収入源確保の観点からメディア授業実施に係る学生アルバイトを雇用 <p>また、千葉県協同組合提携推進協議会の呼びかけにより参集した県内の団体からの支援のもと、学生（約1,000名）への「食の支援」を行った（令和3年3月実施）。</p>
<p>◆ 令和3年度概算要求について</p> <p>〔意見〕</p> <p>すでに日本の災害への対応は世界的に非常に高水準で認められていると思うので、世界最高水準の海外教育研究拠点とこの新しい試みを結びつけてアピールをされたら良いと思う。</p> <p style="text-align: right;">（令和2年7月16日 経営協議）</p>	<p>令和3年度概算要求の結果、国立大学法人運営費交付金（機能強化経費）にて、次世代の災害治療学研究所の推進及び災害治療学研究所のマネジメントを担当する教員の予算措置があり、令和3年10月1日より開設された、災害治療学研究所における災害治療学研究所の核となり、ポストコロナ社会の新生活様式に対応可能な災害治療学研究所を共創的に推進する旗振り役となることが期待されている。本学の強みである多彩な研究教育基盤と地域特性を最大限に活用し、分野横断的組織として、国内外の組織とも連携しながら、地域社会や国際社会の複合型災害にレジリエントな災害治療学モデルを確立することは本学のミッションたり得るものである。</p> <p>また、令和2年度補正予算において、災害治療学研究所の拠点整備にかかる予算が措置され、ポストコロナ時代に向けた統合的な災害治療学における先端研究の基盤となる設備の整備を図っているところである。</p>

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営に反映した主な事例（令和2年度）

経営協議会の学外委員からの意見	本学の取組状況
<p>◆ 国立大学法人千葉大学証明書発行手数料取扱規程の制定について</p> <p>[意見]</p> <p>今回の取組みは、学生本位の先駆的なツールであるということを是非広報してほしい。ホームページにも載せていただいて、上手に広報していただくことが必要だと思う。</p> <p style="text-align: right;">（令和2年9月17日 経営協議会）</p>	<p>在学生の証明書発行サービスの利用については、ポータルサイト(千葉大学学生ポータル)においてサービスの内容、利用方法及び利用手数料等を説明するとともに、リンクを設定してログインサイトへ誘導している。</p> <p>卒業生の証明書発行サービスの利用については、千葉大学ホームページから千葉大学学生ポータルへのリンクを設定し、在学生と同様に利用できるよう準備を行っている(令和3年12月以降利用開始予定)。</p>
<p>◆ コロナ禍における大学の現状について</p> <p>[意見]</p> <p>授業の場でクラスターが発生する可能性はほとんどないと思うが、その後、学生同士で会話をしたり、どこかに行ったり、そういう所でクラスターが発生しやすいので、そちらの方の教育を徹底することが大事だと思う。</p> <p style="text-align: right;">（令和2年11月19日 経営協議会）</p>	<p>学生に対し、公的機関の広報資料等を利用しつつ、随時注意喚起等を行っている。課外活動については許可制とし、活動内容及び感染防止対策を事前審査している。また、その他クラスターの発生しやすい飲食時や寮・自宅等を含む生活時においても感染防止対策を徹底するよう指導・注意喚起している。</p> <p>対面授業の実施にあたっては、全学的な方針を定め、座席の間隔を空ける、十分な換気を行う、マスクを着用する、授業前後の手洗いや手指消毒を行う、体調不良者は参加不可とするなどの感染対策を徹底している。</p>